

題:新聞や雑誌の必要性

名前:

私は、さまざまなメディアの利用者という立場から、インターネットが普及した現在においても、新聞や雑誌は必要であると考えている。

私がそう考える理由の一つは、インターネット上の記事の信ぴょう性にある。確かに、誰もが自由に書きたいことを書いて公に見せることができる。というのはインターネットの強みの一つといえる。これにより、今までは一部のみにしか知られていなかった情報も、一般の人がみ名称されるようになるかもしれない。しかしこれは裏を返せば、情報が正しいかどうかに関わらず記事を書けてしまうことを意味する。しかもインターネットでは匿名性が守られるため、人づてに聞いたまぐつばものの情報を書き込んでしまったり、時には故意に誤った情報を流すという場合もありえる。こうなると、利用者としてはどの情報も信じてよいかわからなくなり、結局何も得られなくなってしまう。

一方、新聞や雑誌の場合、政府による検閲

があるため、ある程度の情報の信ぴょう性が確保される。しかも、それらを出版する際には、著者名や出版者を明示する義務があるため、書く側には正しい記事を書かねばならないという責任感が生まれる。したがって、新聞や雑誌は、利用者としては安心して読めるということになる。

その他の理由としては、新聞や雑誌が紙の媒体であるという点があげられる。紙は自由に切り貼、たり書き込んだりできる。そのため、自分に必要な情報だけをうまく整理するのに非常に便利なのである。インターネットでも、気に入ったページをファイルとして保存することができるものの、まとめやすさ、見たときのわかりやすさを考えれば、新聞や雑誌にはとうてい及ばない。

以上のような理由から、我々は今後も新聞や雑誌のお世話になり続けるだろう、というのが私の意見である。